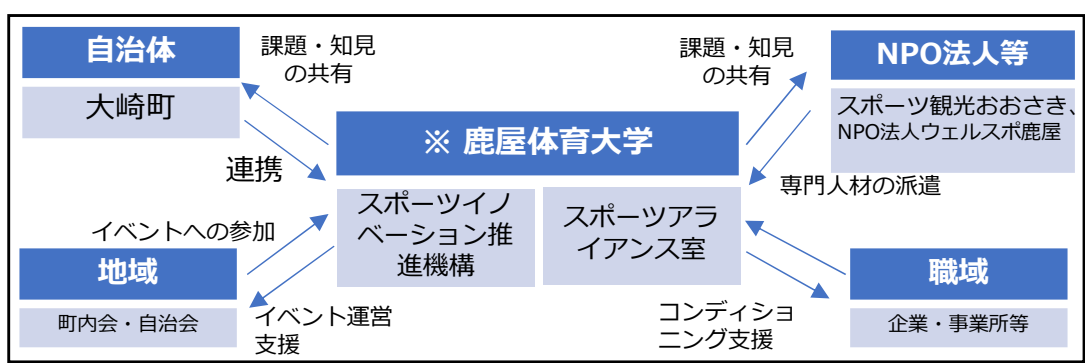


実施計画名	鹿屋体育大学と広域市町村圏域との連携によるウェルビーイング波及モデル事業
事業概要	<p>（１）職域に向けたコンディショニング運動支援事業（職域の健康経営事業）【地域課題①②③】</p> <p>基幹産業に携わる法人・事業所を対象に、研究成果から得た知見に基づく運動プログラムにより、健康経営の実現を図る。</p> <p>（２）地域・職域によるウォーキング交流イベント事業（地域の健康経営事業）【地域課題①③④⑤】</p> <p>地域・職域合同でのウォーキングイベントを企画・開催し、交流の創出を図る。</p> <p>（３）地域・職域の健康経営実践プログラムの構築【地域課題④⑥】</p> <p>上記（１）（２）の大崎町モデルを構築し、一般社団法人スポーツ観光おおさきを実施主体とした事業の継続化を図る。</p>

■対象地域が抱える課題

対象地域	大崎町
<p>①人口減少・少子高齢化により医療費が財政を圧迫している。（※１、※２）</p> <p>②大崎町在住の就業者人口の3分の1を第一次産業就業者（特に農業）が占め、業種・業界固有の健康課題を持つ。（※１）</p> <p>③メタボリックシンドロームの該当者の割合が悪化傾向にある。（※２）</p> <p>④スポーツコミッションにおける地域コミュニティ維持等のインナー事業の展開が十分に実施できていない。（※３）</p> <p>⑤スポーツイベントへの若者の参加が少ない。（※３）</p> <p>⑥スポーツ観光おおさき設立から日が浅く、連携体制が確立していない。</p> <p>-----</p> <p>※１：第３次大崎町総合計画      ※２：第３次健康おおさき２１</p> <p>※３：ヒアリングベースドエビデンス</p>	

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

<p>（１）職域に向けたコンディショニング運動支援事業（職域の健康経営事業）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第一次産業、特に農業の健康課題の把握及び運動プログラムの作成</li><li>・運動プログラムの実施</li></ul>	
大学スポーツ資源	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究成果から得た知見を元に運動プログラムの作成</li><li>・専門家によるプログラム実施</li></ul>
<p>（２）地域・職域によるウォーキング交流イベント事業（地域の健康経営事業）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域・職域住民が主体的に実施できる運動・スポーツ交流イベントプログラムの作成</li><li>・地域・職域交流イベントの実施</li></ul>	
大学スポーツ資源	<ul style="list-style-type: none"><li>・豊富な事業実績に基づくイベント運営やノウハウ等の提供</li><li>・教員がサポートし、地域住民による検討を活性化</li></ul>
<p>（３）地域・職域の健康経営実践プログラムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大崎町モデルの構築</li><li>・一般社団法人スポーツ観光おおさきで事業持続化</li></ul>	
大学スポーツ資源	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究成果から得た知見を元に事業のモデル化</li><li>・専門家による伴奏支援</li></ul>
<p>（４）モデル横展開検討事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・成果モデルの全国への波及</li></ul>	

■期待される事業結果・効果

職域に向けたコンディショニング運動支援事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・働き世代の運動・スポーツ実施率向上</li><li>・健康経営への寄与</li><li>・第一次産業の健康課題の解決</li></ul>
地域・職域によるウォーキング交流イベント事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・多世代にわたるスポーツ人口増加</li><li>・身近な運動の場創出</li><li>・地域貢献のできる人材育成</li><li>・地域コミュニティ活性化</li></ul>
地域・職域の健康経営実践プログラムの構築	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域と職域の交流人口増加</li><li>・地域づくりの担い手育成</li><li>・職域の職場環境づくり</li><li>・事業の持続化</li></ul>